

山陽新聞社提供

(平成21年1月29日朝刊に掲載、平成21年3月23日転載許可承諾済)

日本男子ソフトボールリーグで初優勝を飾った平林金属クラブ



ソフトボール

平林金属男子ソフトボールクラブ

(岡山市御津高津)

驚異の粘り リーグ優勝

「今思い返しても鳥肌が立ちます」。主砲松本剛知選手はあの感動を忘れない。日本男子ソフトボールリーグ決勝トーナメント決勝。延長八回、2-1のサヨナラでトヨタ自動車を下し、創部7年目で岡山勢初のリーグ制覇を達成した。

驚異的な粘りだ。決勝トーナメント3試合すべてサヨナラ勝ち。決勝は土壇場の七回に松本選手が放った起死回生の同点ソロが効いた。強固な結束力を前面に、林文彦投手を軸にした堅守としぶとい打撃が見事にかみ合った。

9月の全日本総合選手権でも初の4強入り。大きな足跡を刻んだシーズンを終え、真価が問われる2009年を迎えた。挑戦者の気持ちを忘れずに昨年以上の成績を残したい」と宮宅健次主将。身上のチーム一丸の戦いに磨きをかけ、さらなる高みに挑む。(岸康宏)